

會報

平成 29 年 5 月 22 日 発行

第 67 号

関東地区整形外科勤務医会

発行者：会 長 山縣 正庸

発行所：事務局 中川 照彦

〒130-8587 東京都墨田区横綱 2-1-11

同愛記念病院整形外科内

関東地区整形外科勤務医会

電話 (03) 3 6 2 5 - 6 3 8 1

FAX (03) 5 6 0 8 - 3 2 1 1

巻頭言

手術症例データベースについて

千葉労災病院

山縣 正庸

我が国の外科系学会連合が連携し手術症例登録を行っている事は多くの方が御存知と思われます。いわゆる NCD(National Clinical Database)ですが当初外科系の 10 学会が参加し手術症例の全登録を 2011 年 1 月 1 日から開始しました。現在では日本病理学会の症例登録も含め全 14 学会が参加し登録作業を全症例について行っており、その数は年間 120 万件以上の症例登録となっているそうです。参加施設は 4967 施設に上り、外科に関連したほぼすべての病院が参加しています。特に外科は専門医制度(従来型)と関連付け、研修施設が症例登録を行い、またその症例の症例報告でないと専門医受験資格が得られません。当初、外科学会内部でも相当に強い反対があったそうですが、そこを踏ん張り押し切ったと代表理事の岩中督教授は講演の際に述べておられました。登録されたデータを利用しての学会主導型の臨床研究、手術成績からみた医療評価、手術に関する診療報酬の状況の把握から診療報酬改定への発信、また施設間や術者ごとの手術成績比較も可能との事です。例えば内視鏡外科では各領域における、内視鏡技術認定医が行った手術成績と技術認定非取得者の手術成績を比較し、診療報酬に反映させるデータを取得する事も可能との事でした。

筆者が初めて症例登録の講演を聴いたのは 1989 年 Sweden の Lund 市で開始された SIROT(Societe

主要目次

- | | | |
|-------------------------------------------|-------------|---|
| 1. 巻頭言 | 山縣 正庸 | 1 |
| 2. 平成 29 年関東地区整形外科勤務医会幹事会・常任幹事会議議事録 | | 2 |
| 3. 関東地区整形外科勤務医会幹事会議議事録 | | 3 |
| 4. 編集後記 | | 6 |
| 5. お知らせ | | 7 |
| 6. 入会のご案内 | | 8 |

Internationale de Recherche Orthopedique et de Traumatologie)に参加した際に、Lund大学のBauer教授が人工関節の症例登録制度、Multicenter investigationの重要性を力説されていた時です。当時JBJSに掲載される臨床研究の多くは米国から発信されており、原因は症例の多さだと考えていたようです。対抗するものとして施設の壁をとり払った臨床研究が重要であり、患者のデータを集約する事がSwedenでは可能だと述べていました。Swedenでは1975年からSweden Knee Arthroplasty Registry(SKAR)が開始されその後THAに、更にSpineの全手術登録に至っています。元々北欧では疫学研究が重要視されFinlandのEpidemiologyは有名です。2007年京都大学の中村孝志教授が主催した第80回総会の国際シンポジウムでSweden, Finland, Denmark, Australia, 英国の人工関節登録制度についての発表がありました。一番遅かった英国でも2003年にThe National Joint Registryを開始しています。その時Finlandでは学会で登録をするのではなく国が主導して登録をしているとの事でした(発表はNational Agency for Medicines and Medical Devicesの方が行っていました)。その後我が国でも人工関節登録制度が開始されています。2007年の事です。今年からは脊椎のインプラント症例の症例登録も開始されようとしています。これらのデータは手術件数のみならず、合併症発生頻度、手術成績さらには医療費まで明らかにしてくれる可能性があり、限られた財源の中、医療費を捻出している我が国では重要な情報になります。先の会報でも述べましたValue based Medicineが社会から求められるようになると今行っている手術がどのように価値あるものであり、どれだけの対価を払えるか議論になります。医療は経済ではなく倫理的なものです。現実には整形外科はデータとして把握しておく事が重要です。

そうは言っても手術症例登録は他科と比較しても非常に症例の多い整形外科では大変な事務作業になります。今でも超多忙な中にさらに時間を割かなければなりません。しかし、先の諸外国では開始しているし、我が国でも整形外科以外の外科系は行っています。私の勤務している病院ではほぼすべての登録業務を医師事務作業補助者が行っています。私が医師事務作業補助者運営委員会の委員長でしたが、病院で事務員を採用し、教育しやっとなんか一人前にし、整形外科医のためにも働いてくれるかと思いきや外科の症例登録の為に働いています。複雑な気持ちです。病院により、症例登録の大変さは異なるでしょうが、その壁は乗り越えなくてはならない壁ではないでしょうか。手術症例の症例登録について真剣に考えなくてはならない時期に来ていると思います。

平成 28 年度関東地区整形外科勤務医会幹事会

・ 常任幹事会議議事録

出席者 47名

秋山典彦、泉田良一、杉山 肇、別府保男、浅野
聡、佐々木孝、河内敏行、小森博達、亀山 真、
進藤重雄、村松俊樹、岩瀬嘉志、黒木啓文、大
江隆史、鈴木信正、三上容司、堀内行雄、土屋
正光、落合直之、木村雅史、原田 繁、平野 篤、

山縣正庸、真塩 清、有馬 亨、穂積高弘、児玉
隆夫、鎌田修博、中川照彦、楠瀬浩一、三原久
範、田中利和、小柳貴裕、早稲田明生、江畑 功、
岡崎裕司、伊室 貴、松本誠一、岩部昌平、中島
育昌、平泉 裕、篠崎哲也、浦部忠久、勝又壮一、
関 寛之、星川吉光、三笠元彦 (敬称略順不同)

日時:平成 28 年 12 月 17 日(土曜日)15:00~15:45
場所:AP 東京八重洲通り 11 階

議 題

【報告事項】

1 理事会報告

山縣先生より報告され、三上先生、大江先生より補足された。

2 平成 29 年 6 月 10 日の教育研修会

村松先生より報告された。

テーマ「大腿骨近位部骨折の治療～特に骨接合術～」

1. 香川労災病院整形外科部長 前原 孝 先生
演題名:大腿骨近位部の立体的形状と転子部骨折に対する治療戦略

2. 静岡赤十字病院整形外科部長 野々宮廣章 先生

演題名:大腿骨頸部骨折に対する骨接合術—ハンソンピンおよびハンソンピンロックについて—

3 新常任幹事の内定(来年 6 月の総会で正式に承認)

平泉 裕 先生(品川志匠会病院・昭和大学整形外科客員教授)

4 日整会代議員選挙・補欠代議員選挙の立候補届全員完了

山縣正庸先生、三上容司先生、鎌田修博先生、飛松好子先生、浅野 聡先生、篠崎哲也先生、杉山 肇先生、清水健太郎先生、松田達男先生、平野 篤先生、山本精三先生、中川照彦

(以上 12 名)、江畑 功先生(補欠)

5 次回の幹事・常任幹事会、総会、教育研修会の日程と場所

日程:平成 29 年 6 月 10 日(土曜日)

場所:AP 東京八重洲通り 11F

6 会報に関して

江畑先生より 第 66 号が平成 28 年 11 月 25 日に発行されたことが報告された

7 ホームページに関して

江畑先生より報告された。

8 外保連関係

原田先生より報告され、亀山先生より補足された。

9 内保連関係

山縣先生より報告された。

【審議事項】

1 常任幹事の退任

上小鶴 正弘 先生

佐藤 浩一 先生

上記 2 名の先生方の退任が承認された。

2 新常任幹事の選出

石橋 英明 先生(伊奈中央病院 整形外科 部長)
:埼玉県整形外科勤務医会からの推薦

新井 嘉容 先生(埼玉県済生会川口総合病院
整形外科 主任部長)

:埼玉県整形外科勤務医会からの推薦

松原 正明 先生(日産玉川病院 副院長)

:土屋正光先生からの推薦

山本 精三 先生(虎の門病院整形外科部長)

:楠瀬浩一先生からの推薦

清水健太郎先生(佐野厚生病院)

:浦部忠久先生からの推薦

上記 4 名の先生方の内定が承認された。

3 平成 29 年 3 月の常任幹事会の日程(いずれも 19:00 より)

候補日:3 月 6 日(月曜日)、3 月 13 日(月曜日)、3 月 27 日(月曜日)

3 月 13 日(月曜日)に決定した。

4 来年の第 66 回東日本整形災害外科学会パネル(シンポ)に関して

テーマ、演者、座長

木村先生より説明があり、山縣先生を中心として検討することになった。

5 2017 年 12 月の幹事・常任幹事会、教育研修会の日程

候補日:12 月 2 日(土曜日)または 12 月 16 日(土曜日)

12 月 9 日(土曜日)に決定した

(文責 中川照彦)

関東地区整形外科勤務医会常任幹事会議事録

日時:平成29年3月13日(月曜日)19:00~20:00

場所:AP 東京八重洲通り

出席者 32名

石橋英明、鎌田修博、小森博達、篠崎哲也、清水健太郎、平泉 裕、穂積高弘、三笠元彦、別府保男、眞塩 清、新井嘉容、浦部忠久、秋山典彦、梅山剛成、田中利和、原田 繁、勝又壮一、中川照彦、江畑功、山縣正庸、佐々木孝、落合直之、進藤重雄、伊室 貴、三原久範、村松俊樹、泉田良一、三上容司、木村雅史、平野 篤、山崎隆志、松田達男

(敬称略順不同)

議 題

【報告事項】

1 理事会報告

山縣先生より報告された。

日整会代議員選挙、JOA 会員登録システム、専門医合格率。

女性医師支援等検討委員会の発足。

原田先生より追加報告がなされた。

専門医制度について大学と基幹施設の基準、モデルプログラム等。

2 平成29年6月19日の教育研修会

村松先生より報告された。

テーマ「大腿骨近位部骨折の治療～特に骨接合術～」

① 香川労災病院

整形外科部長 前原 孝先生

大腿骨近位部の立体的形状と転子部骨折に対する治療戦略 [2][11]

② 静岡赤十字病院

整形外科部長 野々宮廣章 先生

大腿骨頸部骨折に対する骨接合術

ーハンソンピンおよびハンソンピンロックについてー [2][11] R

3 今年度内定した新常任幹事

平泉 裕 先生(品川志匠会病院・昭和大学整形外科客員教授)

伊室 貴 先生(厚木市立病院整形外科部長)

石橋 英明 先生(伊奈病院 整形外科 部長)

新井 嘉容 先生(埼玉県済生会川口総合病院 整形外科 主任部長)

松原 正明 先生(日産玉川病院 副院長)

清水健太郎 先生(佐野厚生病院 副院長)

4 次回の幹事・常任幹事会、総会、教育研修会の日程と場所

日程:平成29年6月10日(土曜日)

場所:AP 東京八重洲通り

5 会報に関して

江畑先生より

昨年度研修会に合わせて2回発行。

本年も6月総会、研修会前の5月に発行予定。

6 ホームページに関して

会報の発行、幹事の先生方の新任・退任、総会研修会の日程に合わせて変更予定。

7 外保連関係

日整会社保委員長の平泉先生より2年後の改定の作業状況報告。

原田先生より補足。

8 内保連関係

山縣先生より1月開催内保連リハビリテーション関連委員会について、検査関係について報告された。

9 ロコモ関係

石橋先生より報告された。

10 日整会代議員選挙・補欠代議員選挙の結果
関東地区整形外科勤務医会より推薦された
立候補者全員が当選した。

山縣正庸先生、三上容司先生、鎌田修博先生、飛松好子先生、浅野 聡先生、篠崎哲也先生、杉山 肇先生、清水健太郎先生、松田達男先生、平野 篤先生、山本精三先生、中川照彦（以上12名 代議員）、江畑 功先生（補欠代議員）

【審議事項】

1 平成29年12月9日（土曜日）の研修会の演題に関して。村松俊樹先生より説明。

教育研修委員（鎌田修博先生、穂積高弘先生、田中利和先生）と協議し、更に推薦していただいた先生を通じて講師候補の先生に連絡を取っていただき、2名とも12月9日の講演をご快諾いただきました。

① 中島康晴先生（九大H2年卒）：九州大学整形外科教授：専門領域は股関節外科、小児整形外科、関節リウマチ

② 岩瀬嘉志先生（順大S63年卒）：順天堂江東高齢者医療センター整形外科科長：専門領域は手の外科、保険審査

中島康晴先生は神奈川リハビリテーション病院の杉山 肇先生からのご推薦です。新進気鋭の新任教授です。杉山先生からは「九大の歴史を含め股関節を中心とした面白いお話が聞き取れると思います。」との連絡をいただきました。

岩瀬嘉志先生は東京労災病院の楠瀬浩一先生からのご推薦です。演題名は検討中ですが、「整形外科医のための保険請求基礎知識と最新の審査解釈」のようなタイトルを考えていただいております。14-4分野での申請が可能とのご返事をいただきました。上記が承認された。

2 平成29年6月10日の教育研修会の座長の先生の選定。村松俊樹先生より説明。

① 前原 孝先生のご講演の座長を佐々木孝先生

② 野々宮廣章先生のご講演の座長を岩部昌平先生

両先生ともに内諾済

上記が承認された。

3 第66回東日本整形災害外科学会でのシンポジウム（2017年9月15-16日 京王プラザホテル：会長 杏林大学整形外科学教室教授 市村 正一先生）

山縣正庸先生より説明がなされた。

現時点でのシンポジウム案

テーマ：サージカルトレーニングの現状と課題

座長 千葉労災病院 山縣正庸、同愛記念病院 中川照彦

演者

杏林大学 演者未定

千葉大学 解剖学教室 鈴木崇根先生

名古屋市立大学 統合解剖学分野 先端医療技術イノベーションセンター

植木孝俊先生

山梨大学 日整会 脊椎脊髄病委員会 江幡重人先生

東京医科歯科大学 JOSKAS 関節鏡 宗田 大先生

上記が承認された。

4 新常任幹事の推薦

坂根正孝先生（筑波学園病院 整形外科・リハビリテーション科部長）

原田 繁先生より推薦

原田義忠先生（千葉県済生会習志野病院 副院長）

山縣正庸先生より推薦

山本精三先生（虎の門病院 整形外科部長）
楠瀬先生より推薦

上記3名の先生方の新常任幹事の内定が承認された。

5 平成29年10月の常任幹事会の日程（いずれも19:00より）

候補日：10月2日（月曜日）、10月16日（月曜日）、
10月23日（月曜日）、10月30日（月曜日）

日程：10月16日（月曜日）19時～20時

場所：AP東京八重洲通り

と決定した。

6 その他

落合先生より日整会研修単位申請5か月前から3か月前に変更予定と報告された。

（文責 中川照彦）

には、ぜひ若手の先生方にも声をかけていただき、さらに盛況になることを期待したいと思います。またその際は、ぜひ勤務医会の会員になるようにお話しいただけるよう、お願いいたします。ホームページ (<http://www.osnka.jp/index.html>) も少しずつですが更新しており、各病院のホームページにもリンクしています。万一掲載漏れや変更等ありましたらご連絡ください。今後さらに充実させていきたいと考えておりますので、会員の皆様のご意見をお寄せください。

（文責 江畑）

事務局から

最近、主要国の首脳が次々と交代になりました。中でも特にアメリカの大統領交代に伴ういろいろな政策転換は、日本も含めて多くの国に多大な影響をもたらしています。対外的な強硬姿勢が波及して、隣国の核やミサイル問題などが日本にとっていよいよ現実的な脅威となってきています。米軍基地を抱える横須賀市医師会では、万一の化学テロ（サリン等）対策として救急センターにアトロピンを備蓄するなど、せめてもの準備を実際に開始しています。核には対抗しきれませんが・・・。

フランス・韓国などの大統領交代も、世界の経済に大きな影響を与えており、株価などは敏感に反応しています。医薬品や医療機器などにまで影響は及ばないとは思いますが、日本の医療政策にも微妙に影響があるかもしれないと思うのは考えすぎでしょうか。「医療特区」や「海外からの患者受け入れ」など、すでに日本の医療自体が変革の時を迎えているようです。いずれにしても「他国の問題」と簡単に考えられる時代はとっくに過ぎており、今後の保険診療にどのような影響が生じるのか注視していく必要はありそうです。われわれ勤務医はいろいろな海外事情も気にしなければならない立場であり、お互いにざっくばらんな意見交換をこれからもしていきたいものです。

昨年12月の研修会でも非常に多くの先生方に参加していただき、大盛況でした。来る6月の研修

お知らせ

第64回 日整会認定教育研修会の御案内

関東地区整形外科勤務医会では、下記のごとく幹事会・総会及び教育研修会を開催いたします。なお、研修会の出席予約は要りません。専門医以外の先生方もお誘いの上、ご参加下さい。会終了後、懇親会も予定しております。

記

日時：平成29年6月10日（土） 開始時間は下記ご参照ください。

会場：AP東京駅八重洲通り

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目10-7号

TEL 03-6228-8109（当日連絡先）

幹事・常任幹事会：14:30～15:15

総会：15:15～15:50

プログラム 15:50～18:00

テーマ 「大腿骨近位部骨折の治療～特に骨接合術～」

【教育情報提供】 『医療用貼付剤（パップ剤・テープ剤）』帝國製薬（株）製品情報室

演題Ⅰ 座長：済生会神奈川県病院 顧問 佐々木 孝 先生

大腿骨近位部の立体的形状と転子部骨折に対する治療戦略 [2][11]

演者：香川労災病院整形外科部長 前原 孝 先生

演題Ⅱ 座長：済生会宇都宮病院 主任診療科長 岩部 昌平 先生

大腿骨頸部骨折に対する骨接合術

— ハンソンピンおよびハンソンピンロックについて— [2][11]Re

演者：静岡赤十字病院第二整形外科部長 野々宮廣章 先生

受講料：1題 ¥1,000—（単位取得者のみ）

懇親会：会終了後、情報交換の場を設けております。

共催：関東地区整形外科勤務医会

帝國製薬株式会社

※ 右の地図をご参照ください。



駐車場がございませんので、公共交通機関のご利用をよろしくお願いいたします。

入 会 申 込 書

平成 年 月 日

(フリガナ)
御 氏 名

生 年 月 日

(大正・昭和) 年 月 日

現 住 所

〒 _____

TEL _____

勤 務 先 名 称

勤 務 先 住 所

〒 _____

TEL _____

FAX _____

e-メール _____

役 職 名

出 身 大 学

卒 業 年 度

出 身 教 室

入会申込み送り先

〒130-8587 東京都墨田区横網2-1-11

同愛記念病院整形外科

関東地区整形外科勤務医会

事務局代表 中川照彦

TEL 03-3625-6381

FAX 03-5608-3211